

## 海外インターンシッププログラム

|           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 派遣国・都市名   | アメリカ ワシントン州 シアトル      |
| 研修先       | 兵庫県ワシントン州事務所          |
| プログラム実習期間 | 2022年8月22日～2022年9月16日 |
| 学部/研究科・学年 | 国際人間科学部3年             |

## インターンシップ就業実習 報告書

### 兵庫県ワシントン州事務所 (HBCC)

8月22日から9月2日までの2週間は兵庫県ワシントン州事務所就業体験を行いました。勤務時間は朝9時から午後5時までの8時間で、休憩は12時から1時間いただいていたいました。

主な業務内容は以下の6つでした。

- ①ワシントン州のスタートアップ企業やVC/CVC企業の社名や業種、住所などの基本情報の調査、
- ②神戸ビーフのプロモーションをするためにロサンゼルス市内にある高級レストランの調査、
- ③日本の高校生活について紹介するためのパワーポイントの作成、
- ④事務所のウェブサイトに掲載する兵庫県の観光スポットについての記事の作成
- ⑤事務所のInstagramに投稿する兵庫県の観光スポットについての記事と写真の作成、
- ⑥兵庫県物産をPRするためのパワーポイントの作成などがありました。

①と②はもう一人のインターン生とスプレッドシートで共有しながら作業を進めました。ビジネス用語が多く、それらの言葉を理解しながら進める必要があったため最初は作業に時間がかかってしまいましたが、事務所の方々のフォローもあり無事進めることができました。③は、後半の2週間でお世話になる高校で日本の高校生活について紹介する用のパワーポイントを作成し、事務所の方々にも添削していただきました。アメリカの高校生にとって分かりやすい日本語を考えることは、外国人の視点からの日本語の印象について知る貴重な経験となりました。④⑤では私の地元である三田市や兵庫県立美術館に関する記事を英語で作成しました。この業務は特に私が力を入れて取り組んだものです。なぜなら、インターンシップに応募した理由の一つとして、私の地元である兵庫県を海外の人にPRして、少しでも地域のためになるような活動をしたいという思いがあったからです。事務所のウェブサイトやSNSを通じて兵庫県の魅力をアピールし、私が書いた記事が少しでも観光客を呼び込むきっかけになれば、という思いで作成することができました。⑥はJTUSAが運用を開始したECサイト「ARTISAN」に兵庫県の物産品を登録してもらえよう、それらの商品の魅力をまとめたパワーポイントを作成するという業務でした。PRする商品の中には馴染みのあるものも多く、それらの魅力を海外の人に届けるための一助となれたのではないかと思います。

これまで体験したことのないようなグローバルな環境のもと、海外と日本や兵庫県をつなぐ架け橋のような業務内容を多く経験させていただくことができ、やりがいと充実感を持って2週間就業し続けることができました。

事務所の方々には業務に関していつも親切にご指導してくださった上に、英会話表現なども教えていただきました。日付が偶数の日は英語で会話や業務を進めるという決まりがあったため、スピーキング力

やリスニング力をあげる良い練習になりました。業務中だけでなく休憩中などにも、アメリカと日本の文化慣習の違いについて話し合うことができ、常に勉強し続けることができました。

### 日本語助手での感想

9月6日から9月16日までは、ホームステイ先から徒歩10分ほどの場所にあるショーウッド高校で日本語指導の助手として就業しました。就業時間は7時半から14時までで、授業はすべて午前中に行われました。

本来は、授業中の机間指導や学習補助といった助手としての役割のみの予定でしたが、先生のご厚意もあり、次の6種類の授業を担当させていただくことができました。①日本の高校生活について、②日本の人気アーティストについて、③お月見文化の紹介、④うさぎの折り紙のレクチャー、⑤着物について、⑥茶道体験。

クラスは初級の日本語1から上級の日本語4まであり、レベル別に分けられていました。日本語1、2のクラスは英語で、日本語3、4のクラスでは日本語も積極的に交えながら授業をしました。日本の伝統文化をアメリカの高校生に伝えることは私のかねてからの願いであったため、生徒のみなさんに興味を持ってもらえるよう、授業の事前準備には力を入れました。自分の英語が上手く伝わらなかったシーンも少なくありませんでしたが、そんな時は先生にいつも助けていただきました。また、ショーウッド高校の生徒は日本の文化に興味を持っている子が非常に多く、授業中も積極的に参加してくれました。先生や生徒のみなさんのおかげで、授業を成功させることができたと感じています。そして、2週間という短い期間しか関われなかったにもかかわらず、最終日には、生徒から折り紙やお手紙、プレゼントをたくさんもらいました。私がショーウッド高校で就業する前に立てていた目標の一つに、「ショーウッド高校への訪問が私にとってだけでなく、彼らにとっても良い思い出となり、日本人と話す良い経験になったと思ってもらえるよう、授業内外問わず彼らとたくさん関わる」という目標がありました。そのため、彼らからのたくさんのプレゼントや温かい言葉は、その目標が達成されたような気がして、とても嬉しかったです。

HBCC やショーウッド高校で過ごした4週間は、学びの毎日でした。アメリカとの文化や価値観の違いに気づくだけでなく、海外から見た日本について知ること、改めて日本の良さや美点について気づくきっかけとなりました。そして、自分の将来とも向き合うことができました。どのように働いてどのような生活を送りたいのか、日本にいるままでは知ることのなかった自分の価値観に気づくことができました。シアトルでの4週間は間違いなく私を成長させてくれたと思います。

### 感想および意見

今回のシアトルでのインターンシップは私にとって初めての一人での海外渡航でした。渡航準備から入国、そして現地での生活まで、何もかも初めてのことでただ初め頃は非常に緊張していましたが、事務所の方々や学校の先生方、ホストファミリーの心強いサポートのもと、日本では経験できないような充実した毎日を過ごすことができました。

### ホームステイについて

私は1か月間、ホームステイをしました。ホストマザーとは渡航する2週間前からSNSで連絡を取り合っていたため、あらかじめ洗濯やご飯のことなどについて質問することができました。入国日は、シアトルタコマ国際空港までホストマザーに車で迎えに来てもらうことができたので道に迷う心配はありませんでした。家につくと、ホストマザー、シスター、そしてモンゴルからの留学生の3人とも、私をとても暖かく迎え入れてくれました。簡単に家でのルールを説明してもらったあと、早速お孫さんのバーベキューパーティーへ連れて行ってくれました。渡航後で少し疲れていましたが、アメリカンスタイルの豪華なホームパーティーを楽しむことができました。その次の日からは兵庫県事務所でのインターンが始まりました。私のホームステイ先は朝食と昼食は自分で用意するように言われていたため、朝はパンやヨーグルトなど冷蔵庫にあるものを自由にとって食べ、昼はお弁当を詰めて持っていったり、外で軽食を買ったりしていました。物価の高騰と円安の関係で、外で買うのはなるべく控えるようにしました。夕食はホストファミリーともう一人の留学生と一緒に食べていました。この夕食時に、その日あった出来事を英語で話したり、会話を楽しんだりして、恐れず英語を使うようにしていました。

### 交通機関について

HBCCの事務所へは、朝はバスで、帰りは電車とバスで通っていました。事務所とホームステイ先は少し距離があったため、約1時間かかっていました。帰りもバス1本で帰れたのですが、夜はバスの治安が悪かったのなるべく電車を使うようにしていました。

### 高校について

ショーウッド高校には、外国語としてスペイン語、フランス語、日本語から一つを選択できる制度がありました。日本語を選択している生徒のほとんど全員が日本に興味を持っている子ばかりで、積極的に質問してくれたり熱心に授業を聞いてくれたりしたので、授業をするのがとても楽しかったです。彼らが日本に興味関心を持っているのはほとんどがポップカルチャーでした。日本のアニメやマンガ、キャラクターがアメリカの高校生にも人気であるということ、実際に確認することができました。一方で日本の伝統的な文化芸術についてはよく知らない生徒が多いようでした。ある生徒は「日本の伝統的な何かを知りたいけど知る機会がない」と教えてくれました。そこで私は日本の伝統的な文化の一つである茶道を体験してもらい授業を行うことにしました。抹茶の歴史や作法についてレクチャーし、最後は私が点てた抹茶を飲んでもらいました。また、お点前中は私語厳禁とし、茶道において重要な要素である「静寂さ」も体験してもらいました。抹茶やその空間を存分に楽しんでくれた生徒もいれば、そうではない生徒もいましたが、他国にはない日本特有の文化や考え方を知り、彼らがもっと日本を「おもしろい国だ」と興味を持ってくれることを願っています。

この4週間は想像していたよりもはるかに楽しく、刺激的で充実したものでした。それは、兵庫県ワシントン州事務所の皆様やショーウッド高校の先生方、ホストファミリー、そして渡航前から渡航中、帰国後もサポートし続けてくださった神戸大学関係者の皆様のお陰だと感じています。また、このコロナ禍に海外へ行くことを許してくれた家族にも感謝したいです。たくさんの方のご支援のもと実現できたこの経験をこれからの学生生活、そして将来に活かしていきます。

●オフィス外観



●オフィス内



●ショーウッド高校での授業



●ショーウッド高校での茶道体験授業



●アマゾン・スフィア



●スペースニードル

